

第 30 回品川セミナーで、中川一教授が

「河川堤防研究：水工学からのアプローチ」について講演

2012 年 11 月 2 日(金)17:30 から、中川一教授が、京都大学東京オフィス（インターシティー品川 27 階）にて、第 30 回 京都大学附置研究所・センター品川セミナー 「河川堤防研究：水工学からのアプローチ」の講演を行いました。この品川セミナーは、京都大学の学問の最先端の様子を、広く一般の方々に紹介するとともに、疑問やご意見に答えることが目的であり、平成 22 年から講演を月 1 回ペースで行っているものです。

今回開催したセミナーで中川一教授は、河川堤防の歴史から現状、大雨等によって破堤した氾濫災害の事例やその原因、そして破堤原因の中で一番発生頻度の高い越流による破堤現象の研究について講演しました。約 60 名の参加者が熱心に聞き入り、会場で多くの質問がでました。そのひとつひとつに中川一教授が答え、盛況のうちに終了しました。

